

2019年度 国際開発入門コース 受講者募集のご案内

グローバル化が急速に進むなか、国や地域の課題が複雑に影響し合い、地球規模の課題となって深刻な状況を生み出しています。課題解決に取り組む国際開発協力分野では、専門性の高さと共に幅広い知識を持つ人材が求められています。

FASiD「国際開発入門コース」では、社会人として様々な経験を積みながら、将来、国際開発協力分野で活躍することを希望されている方々に、講義やワークショップ、グループディスカッション等を通じ、国際開発協力に関する基本的な理論や知識、主要な課題とそれら課題間の関係性などを、包括的に理解していただくことを目指します。講師にはNGO職員、開発コンサルタント、JICA職員、元国際機関職員、研究者など、経験豊富な方々をお招きし、多岐にわたるテーマを取り上げます。

皆様のご応募をお待ちしております。

■ 参加対象：

国際開発・国際協力分野に興味を持ち、将来、携わりたいことを希望している社会人の方。
また、現在、国際開発協力事業に携わっている方。

■ 研修会場・日程：

□ 研修会場：FASiDセミナールーム（東京都港区麻布台2-4-5 メソニック39MTビル 6F）

□ 研修期間：2019年10月19日（土）～11月30日（土）、毎週土曜日※（全6日間）

※ただし、11月2日（土）は除く

□ 講義時間：10:00～18:45の間で実施

■ 募集人数：

(1) 全コース参加：20～25名

(2) 一部選択参加：各講座につき5名程度

※(1)、(2)ともに応募者多数の場合は、募集締め切り後に選考させて頂く可能性があります。選考は、全コースに申し込まれる方を優先させて頂きます。また、最少催行人数に達しない場合は、実施を見合わせる場合があります。

■ 参加費（税込み/当財団賛助会員・フレンズの方は2割引）：

(1) 全コース参加：35,000円（賛助会員・フレンズ：28,000円）

(2) 一部選択参加：3,500円/1回の講義（賛助会員・フレンズ：2,800円）

コース内容詳細 ※一部変更になる可能性があります。

(1) オリエンテーション* (全コース参加者のみ対象)

10月19日(土)10:00-12:00 ファシリテーション:FASID

内容:本コースの概要説明と参加者の自己紹介後、参加者の問題意識や国際開発協力分野における関心事・活動等を共有します。

(2) 持続可能な社会の実現 ~SDGsで創る未来~

10月19日(土)13:00~15:30 講師:紺屋 健一 氏(政策研究大学院大学/GRIPS 政策研究院 教授・参与)

内容:2015年、193の国連加盟国によって持続可能な開発のための2030アジェンダが採択され、国際社会が2030年までに貧困を撲滅し、持続可能な社会を実現するための重要な指針として、17の目標が持続可能な開発目標(SDGs)として設定されました。SDGs策定の経緯やその特徴、意義を学び、SDGsが何を目指しているのか、また、その達成のために、国際協力の分野において求められる取り組みについて一緒に考えます。

(3) 共に学ぶ場としての国際協力 ~NGOで働くこととは~

10月19日(土)15:45~18:15 講師:三宅 隆史 氏(公益社団法人シャンティ国際ボランティア会/SVA ネパール事務所所長)

内容:政府の政策や方針ではなく、市民の問題意識を活動の出発点としているNGO(Non-Government Organization)は、国際開発協力においてどのような役割を担っているか。日本の国際協力NGOの歴史、役割や活動について、緊急人道支援下の教育援助に関する具体例も交えて共に学び、NGOで働く意義とNGO職員が直面する課題を考える機会を提供します。

(4) JICAによる国際協力、民間連携の取り組み

10月26日(土)10:00~12:30 講師:福原 一郎 氏(国際協力機構/JICA民間連携事業部 計画・連携企画課 企画役)

内容:SDGsを達成するには、様々な技術、アイデア、知の結集が必要となります。そのため、民間企業の優れた製品、技術、ノウハウを活用することで、課題を解決するような取り組みが強く求められています。このような潮流の中でJICAがこれまでに培った経験やネットワークを生かして取り組む民間連携事業について、JICAの概要と役割の説明と共にご紹介します。

(5) ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)の実現に向けて

10月26日(土)13:30~16:00 講師:稲場 雅紀 氏(アフリカ日本協議会 国際保健部門ディレクター/SDGs市民社会ネットワーク 政策担当顧問)

内容:ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)は「すべての人が、適切な健康増進、予防、治療、機能回復に関するサービスを、支払い可能な費用で受けられる」ことを意味します。開発途上国でのUHC達成には、財源、制度設計、保健医療施設・サービスの質等、様々な面において多くの課題があります。UHCの背景、その達成に向けどのような取り組みが行われ、どのような課題があるのか、保健分野以外の分野との関連性など、包括的なUHCの概要を学びます。

(6) 障がいと開発

10月26日(土)16:15~18:45 講師:戸田 美佳子 氏(上智大学総合グローバル学部 助教)

内容:SDGsは「誰も置き去りにしない」をスローガンに、一人ひとりの尊厳を大切に、特に脆弱な人々に関心を払うことを求めています。開発途上国における障がい(者)に関する問題を取り残さないために、障がいと開発の政策、実情、および課題について、中部アフリカのカメルーンやコンゴの事例を通じて学びます。

(7) アフリカからグローバルイシューを考える

11月9日(土)10:00~12:30 講師:佐藤 章 氏(アジア経済研究所 地域研究センター・学術情報センター 主任調査研究員)

内容:アフリカは国際開発を考える上で避けて通れない存在です。しかし、アフリカについてまとまった知識を手軽に得られる機会は、残念ながらあまり多くありません。そこで、この講義では、1990年代以降のアフリカを取巻く政治経済や国際情勢の要点を押さえ、アフリカを見る目と勘所をつかみます。

(8) ジェンダーと農村開発

11月9日(土)13:30~16:00 講師:梶房 大樹 氏(株式会社かいはつマネジメント・コンサルティング コンサルタント)

内容:ジェンダー格差をなくして、一人ひとりの人権が尊重される安全で安心して暮らせる社会を実現することは、日本においても、国際協力においても重要な課題です。その解決には、多様性とジェンダーの視点に立った個々人の福祉と権利の保障の実現に向けた様々な取り組みが必要です。国際協力の現場におけるジェンダー主流化の取り組みや具体的なアプローチについて一緒に考えます。

(9) 国際開発協力の歴史、日本政府・主要ドナーの開発援助と国際相互依存関係

11月16日(土)10:00~12:30 講師:大野 泉 氏(国際協力機構/JICA研究所 所長/政策研究大学院大学/GRIPS 客員教授)

内容:日本をはじめとする世界の主要援助国は、国際的な援助枠組みや各国の援助理念に基づき多様な援助戦略・手法を打ち出しています。最近の国際開発潮流を交えながら、日本が国際開発協力においてどのような位置づけや役割を果たしているかを解説し、日本が今後取り組む方向についても意見交換します。

(10) 気候変動の影響、緩和策と適応策

11月16日(土)13:30~16:00 講師:山岸 尚之 氏(世界自然保護基金WWFジャパン 気候変動・エネルギーグループ長)

内容:地球温暖化が進み、気温の上昇と共に世界各地の気候が大きく変化しています。その影響は、自然環境や生態系のみならず、世界中の人々の暮らしや社会、経済や産業に重大な問題を引き起こすことから、あらゆる分野に悪影響を及ぼすと予測されています。気候変動に関する国際社会の取り組みを紹介し、国際開発協力の視点から地球温暖化の緩和策と適応策について考えます。

(11) 支援現場における国際基準スフィアから学ぶ人道支援の質や説明責任

11月23日(土)10:00~13:00

講師:五十嵐 豪 氏(特定非営利活動法人 難民を助ける会/AAR Japan プログラムマネージャー/人道・開発支援における質と説明責任(Quality & Accountability: Q&A) トレーナー)

講師:松本 幸子 氏(一般財団法人 国際開発機構/FASID 人材開発事業部次長代理・コンサルタント、Q&Aトレーナー)

内容:紛争の被害者や自然災害の被災者の生命、尊厳、安全を確保するために行う人道支援では、人道支援の質の向上と説明責任を果たすことを重視しています。それらをどのように実現するのか、スフィアなどの国際基準を通じて学びます。

(12) 教育分野における国際協力

11月30日(土)10:00~12:30 講師:江原 裕美 氏(帝京大学外国語学部 教授)

内容:SDGsの中に「すべての人に包摂的で質の高い教育を普及させる」という目標が掲げられているように、教育はすべての人が享受すべき基本的権利です。また、国際開発協力において、貧困を緩和する最も有効かつ効果的な手段でもあります。国際開発協力における教育の歴史的背景、現状や課題について、ラテンアメリカの事例等も交えてご紹介します。

(13) UNシステム及び国連機関による平和政策

11月30日(土)13:30~16:00 講師:西野 桂子 氏(関西学院大学 総合政策学部・大学院総合政策研究科 教授)

内容:国際連合及びその関連機関、専門機関などからなるUNシステムの基本構造を解説します。また、国連の主要な目的の一つである「国際平和と安全の維持」のための主要な政策手段について解説すると共に、昨今、注目される「人間の安全保障」や「保護する責任」といった政策概念についても紹介します。

(14) まとめ* (全コース参加者のみ対象)

11月30日(土)16:15~18:15 ファシリテーション:FASID

内容:各コースで学んだことを振り返りながら意見交換し、今後の各自の活動予定・計画を共有します。

「国際開発入門コース」 運営インターン募集

**運営インターン応募受付は、10月3日(木)正午をもって締め切りました。
たくさんのご応募、誠にありがとうございました。**

コース参加者の募集とは別に、日本の大学(3年生以上)および大学院の学生等で、国際開発・国際協力分野の全体像を広く学び、将来、国際開発に関わる分野で活躍することを希望する方を、「国際開発入門コース」の運営インターンとして募集します。インターンの方には、実務経験と「国際開発入門コース」を聴講する機会を提供します。

■修了証:

全コース参加者につきましては、全体の8割以上出席されることを修了条件とし、修了者には最終日に修了証を授与いたします。

■修了者特典:

本コース(全コース)を修了された方は、2020年3月迄に実施される当財団のProject Cycle Management (PCM)研修の「計画・立案コース」を、一般受講料の2割引で受講していただくことができます。なお、応募者多数の場合は選考がございます。

※PCM研修については以下をご参照下さい。

<https://www.fasid.or.jp/pcm/>

応募方法詳細

■応募方法:

オンライン応募フォームよりご応募ください。オンライン応募フォームは、募集ウェブページにある「応募フォーム」ボタンをクリックしてアクセスしてください。

募集ウェブページ: https://www.fasid.or.jp/theme_specific_training/2_index_detail.php

受講の可否、及び受講料のお支払い方法等は、10月9日(水)迄に、ご本人へメールでご連絡いたします。

■応募締切: 2019年10月7日(月)正午12:00

■留意事項:

受講決定後、お客様のご都合により辞退をされる場合は、研修開始日の3営業日前からキャンセル料をお支払いいただきます。

■お申込み・お問い合わせ先:

一般財団法人 国際開発機構 (FASID) 人材開発事業部 担当: 山本(還) / 高倉

電話: 03-6809-1996 / E-mail: nyumon@fasid.or.jp

住所: 東京都港区麻布台2-4-5メソニック39MTビル6F

ウェブサイト: <http://www.fasid.or.jp>

■研修会場へのアクセス:

一般財団法人 国際開発機構 (FASID)
セミナールーム (メソニック39MTビル6F)

東京メトロ日比谷線 神谷町駅
1番出口より徒歩6分

都営大江戸線 赤羽橋駅
中之橋口/赤羽橋口より徒歩7分

都営三田線 御成門駅
A1出口より徒歩10分

